

## 文献

- 浅野美知恵,佐藤禮子(2008). 消化器がん術後患者と家族員の社会復帰を促進する効果的な外来看護, 日本がん看護学会誌, 2(2), 23-33
- 荒井春生(2006). がんの体験がもたらした「人生に対する意味づけ」の理解, 日本看護学会論文集: 精神看護 37, 205-207
- Alex B(2003). Role and gender differences in cancer-related distress: A comparison of survivor and caregiver self-reports. *Oncology Nursing Forum* 30(3), 93-499
- ベネッセ次世代育成研究所「第一回乳幼児の父親に関する調査」(2005). [http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/research/research\\_02.html](http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/research/research_02.html)
- 伴佳子,浅野 美知恵(2011). 子をもつ壮年期膵臓がん患者の体験する痛みと生き方への対処, 日本がん看護学会学術誌 25, 80
- Bridger L, DeNour A(1988). Adjustment to cancer—who is the patient. the husband or the wife, *Isr J Med Sci* 24, 631-636
- David W. K, Sidney B, W. Ivon B, Dean M et al(2007). Psychological morbidity in the families of patients with cancer. *Psycho-Oncology*, 3(1), 47-56
- 井上眞理子,大村英昭(1995). ファミリズムの再発見, 世界思想社, 12
- 浜治世(2000). 母性感情が子供をもつ若い女性患者の再発と死の不安克服に及ぼす効果に関する研究, 文京女子大学研究紀要, 2(1), 101-125
- 久松美佐子,荒井春生(2010). がん患者の余命告知を受けた家族の対処方法について - 性別による特徴-, 死の臨床 33(2), P. 246
- 廣瀬規代美,中西陽子,樽矢裕子他(2004). 壮年期の夫を亡くした妻へのインタビューを通して考える, 日本看護学会論文集: 成人看護 II, (34), 194-6
- Hilton(2000). *Western Journal of Nursing Research*, 22(4), 438-459
- 広瀬寛子(2005). 遺族のためのサポートグループにおける「思い出の品を持ってきて語ること」の意味. 日本看護科学会誌, 25(1), 49-57
- 藤田佐和(2008). 壮年期がん患者をもつ家族へのケア, 家族看護 6(2)
- 藤田佳子(2007). 外来化学療法を継続しているがん患者の生きていく力, *国際ナショナル nursing Care Research*, 6(1), 139-149
- 本田彰子,佐藤禮子(1997). がん患者の家族の思いに関する研究-診断期から治療期におけ

- る家族の思いの構造化-. 日本がん看護学会誌, 11(1), 49-57
- 本田彰子,佐藤禮子(1999). 終末期がん患者の家族の移行. 千葉看護学会会誌, 5(1), 16-22
- James D(1985).An Empirical Assessment of the Effects of Cancer on Family Role Functioning, Journal of Psychosocial Oncology, 3(1), 1-16
- 河合隼雄(1980). 家族関係を考える, 講談社, 183
- 柏木哲夫(2007). 講演記録 生きていく力, 看護学統合研究, 19(1), 1-14
- 春日井典子(1995). 家族スタイル論的アプローチ, 家族社会学の分析視覚, ミネルヴァ書房, 303-302
- 片桐和子(2001). 継続治療を受けながら生活しているがん患者の困難・要請と対処-外来・短期入院に焦点を当てて-, 日本がん看護学会紙, 15(2), 68-74
- 北添加奈子,藤田佐和(2008). 外来化学療法を受けるがん患者の“前に向かう力”, 日本がん看護学会誌 22(2). 4-13
- 健康日本 21. <http://www.kenkounippon21.gr.jp/index.html> [2010-04-01]
- 国立がんセンター国立がん対策情報センター. <http://ganjoho.ncc.go.jp/> [2010-04-01]
- 近藤真紀子,佐藤 禮子(2007). 未成年の子供を持ち妻をがんで失う壮年期の夫の苦悩. 千葉看護学会会誌, 13(1), 94-101
- 熊谷有記,小笠原知枝,長坂育代(2007). 終末期がん患者の家族のストレス・コーピング及び影響要因の検討, 日本がん看護学会誌 21(2), 51-56
- 黒田秀美(2002). がん患者の家族機能と不安との関連, がん看護 7(4), 348-353
- 倉林しのぶ(2010). 子どもを持つ若年層寡婦のストレス及び自治体におけるサポートの現状, 死の臨床 33(1), 94-100
- 前田真紀子,佐藤禮子(1996). 子供をもつ壮年期女性の乳癌後発病の役割意識の変化, 岡山大学医療技術短期大学紀要, 7, 189-199
- Marten N, Davies B(1990). The work patients and spouses in managing advanced cancer at home , Hosp J, 6(2), 55-73
- 守田美奈子,酒井敬介,奥原秀盛他(1999). がん患者を抱える家族の QOL, 死の臨床, 22(1), 88-94
- 宮崎恵(2007). 癌告知を受けた壮年期患者の家族の思い. 日本看護学会論文集:成人看護Ⅱ 37. 452-453
- 茂木寿江,大山ちあき,藤野文代他(2010). 子どもを持つ乳がん患者が抱く希望, Kitakanto

Medical Journal 60, 235-241

森岡清美(1993). 新社会学辞典, 有斐閣

森岡清美, 望月崇(2007). 新しい家族社会学, 四訂版, 培風館, 69-

内閣府(2007). 国民生活白書. <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/> [2010-04-01]

内富庸介他(2004). 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業「質の高い緩和ケアを日本全国に普及させるために取り組むべき課題のリスト

中西陽子, 廣瀬規代美(2002). 終末期がん患者を在宅で介護する家族の心理経過を支える看護, 日本看護学会論文集: 成人看護Ⅱ 33, 392-394

沼田彩子, 島内節(1994). 家族看護学の理解 家族のライフスタイルからみた家族援助の視点, 看護技術, 40(4), 1469-1475

Laurel L.N, Geraldine D, Carol C-M (1995). Factors affecting couples adjustment to recurrent breast cancer, Soc Sci Med 42, 69-76

野村美香, 藤田佳子, 三井成子(2004). がん治療過程における家族集団のゆらぎに関する研究, 死の臨床, 27(1), 69-75

岡堂哲雄(2004). 系統看護 15 家族論・家族看護論, 医学書院

大傷央子(2004). がん患者の家族ケア カルガリー家族アセスメントもでる・介入モデルのがん看護への適応. がん看護, 9(4), 293- 299

岡田みゆき(2008). 父親をとりまく家族や社会状況, 北海道教育大学紀要 教育科学編, 9(25), 139-149

Persson L, Rasmusson M, Hallberg IR(1998). Spouses' view during their partners' illness and treatment, Cancer Nursing, 21(2), 97-105.

Schumacher KL, Dodd MJ, Paul SM. (1993) The stress process in family caregivers of persons receiving chemotherapy, Res Nurs Heath 16, 395-404

庄村雅子(2008). 死にゆくがん患者と家族員との相互作用に関する研究, 日本がん看護学会誌, 22(1), 65-75

新木真理子(2002). 生命感情の沸き上がりの研究, 日本看護科学会誌, 22(2), 23-33

鈴木和子(2008). 家族看護学に関する理論と研究、実践, 保健の科学 1(50), 9-12

鈴木和子, 渡辺裕子(2008). 家族看護学 理論と実践第3版. 日本看護協会出版会. 50-

鈴木 久美, 小松浩子(2002). 初めて病名告知を受けて治療に臨む壮年期がん患者の認知評価とその変化, 日本がん看護学会誌 16(1), 17-27

- 鈴木志津枝(1988). 終末期の夫を持つ妻への看護—死亡前・死亡後の妻の心理過程を考える, 看護研究, 21(5), 399-409
- 武田睦美(2005). 壮年期がん終末期患者の妻への援助 父親の死を間近にした思春期の子供への関わり. ホスピスケアと在宅ケア, 13(3), 269-72
- 竹内そのえ, 渡辺裕子(2004). がん看護 がん患者の家族ケア 癌感患者の家族ケアにあたり知っておくべき諸理論, 9(4), 286-291
- 上田紀行(2005). 生きる意味. 岩波書店
- 鷺田清一(2006). 感覚の幽い風景, 紀伊国屋書店
- Woods NF(1989). Living with cancer: Family experiences, Cancer Nursing, 12(1), 28-33
- 上杉和美(2004). 退院後のがん患者のエンパワーメント, 高知女子大学看護学会誌 29(1), 37
- 矢ヶ崎香, 小松浩子(2007). 外来で治療を続ける再発乳がん患者が安定した自分へ統合していく体験, 日本がん看護学会誌, 21(1), 57-65